

## 教科横断型授業「理科」×「地理歴史」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(13番)「気候変動に具体的な対策を」				
実社会での課題	気候変動に関し、パリ協定では今世紀末までの温度上昇を2℃未満に抑えることが目標とされているが、現在各国が示している削減目標では少なくとも2.7℃の上昇が見込まれるとUNEPは指摘しており、気候変動への具体的な対策が迫られている。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	過去の気候変動が当時の社会にもたらした影響を学ぶことを通して、バイオームの成立が気候に左右されることを理解しつつ、現代の気候変動が我々の社会にどのような影響をもたらすかを想像して対策を模索する能力を養う。				
主題(教材)	三内丸山遺跡の盛衰に当時の気候変動が影響を与えた <sup>1)</sup> ことを踏まえ、気候とバイオームおよび社会のつながりを学び、現代の地球温暖化が私たちの社会に及ぼす影響について考える。				
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三内丸山遺跡の概要を理解する</li> <li>○ 学習目標を立てる。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒自身のニーズに合わせて学習目標を設定するよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒用端末</li> <li>○ Microsoft Teams (スライド配信)</li> <li>○ ワークシート</li> </ul>
	展 示	1 縄文時代の集落の分布とバイオームとの関係性 <sup>2)</sup> を踏まえ、日本のバイオームの水平分布と垂直分布について理解する。	10	○ 気候とバイオーム、および社会の関係を意識させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒用端末</li> <li>○ Microsoft Teams (スライド配信)</li> <li>○ ワークシート</li> </ul>
	過 渡	2 縄文時代の気候変動により、三内丸山遺跡集落周辺でのクリの栽培の成否が左右され、集落の盛衰につながった <sup>1)</sup> ことを理解する。	5		
	開 発	3 「暖かさの指数」を求めることにより、当時の三内丸山遺跡周辺地域がクリの栽培に適していたと推測されることを理解する。	10	○ 気象庁ホームページを参照させ、データの収集と活用の方法を学ばせる。	○ インターネット
	開 発	4 縄文時代の気候変動が集落の盛衰に影響した <sup>1)</sup> ことを踏まえ、地球温暖化のメカニズムを学び、現在の気候変動の影響について考える。	5	○ 生徒同士で考えたことを共有させる。自己の考えを表現することや、他者の意見を聞くことを通して、自己の考えを広げ深めさせる。	
	開 発	5 縄文時代の気候変動は世界的な現象であった <sup>1)</sup> ことを踏まえ、世界のバイオームについて理解を深める。	10		
整 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学びを振り返る。</li> <li>○ 授業の感想を入力する。</li> </ul>	5	○ 学習目標を踏まえた振り返りを勧める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒用端末</li> <li>○ Microsoft Forms</li> <li>○ ワークシート</li> </ul>	
備 考	1)川幡穂高, 山本尚史(2010)「縄文時代の古環境, その2-三内丸山遺跡周辺の環境変遷-」地質ニュース666号, 31-38頁. 2)川幡穂高(2009)「縄文時代の古環境, その1-縄文人の生活と気候変動-」地質ニュース659号, 11-20頁.				